

深化

を意図した道徳の時間

主題名 「自立する力」

内容項目 1-(3) 自主・自律

平成26年9月22日(月) 第2学年B組 22名 場所: 2B教室 指導者: 若林 裕子

1 **ねらい** 自己の尊厳に気付き、自主的に考え判断し、望ましい行動をとろうとする意欲を育てる。

2 **資料名** 自立をたすけた手紙 (出典 日本文教出版「あすを生きる②」)

3 主題設定の理由《指導観》

(1) ねらいとする道徳的価値について《価値観》

自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任を持つことが道徳の基本である。したがって、深く考えずに付和雷同したり、責任を他人に転嫁したりするのではなく、自らの規範意識を高め、自らを律することができなければならない。

中学生の時期は、自我に目覚め、自主的に考え、行動することができるようになる。しかし、一方では自由の意味をはき違えて奔放な生活を送ったり、周囲の思惑を気にして他人の言動に左右されてしまったりすることも少なくない。また、自分自身にかかわる行為が自分や他人にどのような結果をもたらすかということ深く考えることができない面も見られる。

自分自身の選択した行動が、結果的には自分の将来やその生き方に影響を与えることを自覚させ、少しでもよい行動をとろうとする意欲を高めていくことが大切であると考えます。

(2) 生徒の実態《生徒観》

自己の尊厳に気付き、自主的に考え判断し、望ましい行動をとろうとする意欲を育てるために、学校教育全体で以下のような指導を行ってきた。

① 道徳の時間における指導

1年時に内容項目1-(3)「体育祭運営委員」(光村図書)を資料として、自らが引き受けた委員の仕事に責任を持ち、その役割を遂行するためには他人の言動に左右されずに誠実に行動することの大切さについて考えた。

② 各教科等での指導

ア 教科指導

理科の探究活動として実験活動を行う際にグループの中での役割を決め、一人一人に責任をもたせる活動を積み重ねている。そこでは、教科書を調べたり友達に聞いたりして、安全に、正確に測定することを心がけさせている。

イ 特別活動

学級活動の時間では、職場体験学習に向けて自分で生活するための仕事について働く意義を自分自身で考えるとともに家族の意見も聞き、働くことについての考えをまとめた。

ウ 総合的な学習の時間

高原学校に向けて、スローガンの「一致団結！仲間と共に高め合おう～自然の中で楽しく学び、自律心の向上を目指して～」を意識し、それぞれの係分担に責任を持つことで、一人一人が自ら行動する意欲を高めてきた。

③ 日常での指導

授業における積極的な発言や授業の準備、学級の係活動の際に自分の役割や次に何をしなければいけないのかを考えて行動するように指導を行ってきた。しかし、小学校から変わらぬメンバーであるため、小学校からの序列関係が今も残っている様子が見られ、正しいことを率先して行ったり、正しくないことを注意したりすることができない現状がある。また、自分一人だけで行動することに自信がない様子も見られ、周囲の生徒に合わせて行動してしまう現状がある。

本時の学習では、資料を通して自ら考えて判断したことを積極的に行うことのよさや他人に左右されることなく正しいと思うことを率先して行うことの大切さを学ばせるとともに、自身のこれまでを振り返らせ、自らの行動に責任を持ち、望ましい行動をとろうとする意欲を育てたい。

本時の授業は「深化」を意図して行う。生徒たちはこれまでの授業や生活の中で自立することを意識する場面はあった。しかし、そのことについてじっくりと話し合ったり、深く考えたりする場面が十分であるとは言えない。そこで、資料「自立をたすけた手紙」で手紙に込められた心情を読み取る活動を通して、深化を図り、自主・自立の精神を養っていききたい。

(3) 資料について《資料観》

この資料は、人間関係の悩みから学校へ来なくなったA子さんに対するB君の手紙が中心になっている。B君は小学校の頃、クラスの仲間からの嫌がらせで、つらく、悲しい思いをした。そうした中で悩みながら、間違ったことに屈せず、前向きに一生懸命努力した経験から、A子さんに共感するとともに、自分を見つめ直し、一歩踏み出せるようアドバイスを送る。

B君が嫌がらせから立ち直るとき的心情を考えることにより、自己の尊厳に気付き、望ましい行動をとったことがB君自身の自立につながったことに気付かせ、A子さんにも自分と同じように自分の判断で立ち直ってほしいことに気付かせたい。また、自己を振り返りながら自立するということについて考えさせたい。

4 深化を意図し、ねらいとする道徳的価値の自覚を深めるための指導の工夫

(1) 道徳的価値について理解するために

- ・ 高原学校のスローガンを振り返らせたり、「自立」「自律」の言葉の意味を確認したりすることで自主・自律の価値理解を深められるようにする。
- ・ B君が小学校時代に受けた嫌がらせから立ち直るとき的心情に触れ、価値の実現の難しさを考えさせる。
- ・ B君の手紙に込められたA子への思いを考え、班（3～4人）で話し合うことによって、自分の気付かなかった考えを発見できるようにする。
- ・ 道徳的価値を理解できるようにワークシートを活用し、書く時間をしっかりと確保する。

(2) 自分とのかかわりで道徳的価値をとらえるために

- ・ 「私たちの道徳」P.22 の文章を読み聞かせることで、自立するという意味について再確認し、自分の生活を振り返るきっかけとし、道徳的価値をとらえることができる。

(3) 道徳的価値にかかわる課題を培い人間としての生き方についての自覚を深めるために

- ・ 授業の終末で、授業を振り返って感想を書くことを通して自立することの大切さをおさえるとともに、自己の生き方についての自覚を深める。

5 本時の展開

過程	学習活動と発問『 』(◎は中心発問) ・予想される生徒の反応	指導上の留意点(○) 及び評価の観点(☆)
導入 (5分)	1 高原学校のスローガンを振り返り、「自立」「自律」の意味を確認し、本時の主題を伝える	○「自立」と「自律」の意味の違いを確認し、本時は「自立する力」について考えることを伝える
展開 (40分)	2 資料を読んで話し合う <価値理解><人間理解><他者理解> (1)『B君はどうして立ち直れたのだろうか』 ・いつかはいい日が来ると頑張り続けた ・人の言うこときいたり、わらわしたりして少しずつかなしかったことをぶっとばしていった ◎(2)『この手紙を通してB君がA子さんに伝えたかったことは何でしょうか』 ・自分の殻に閉じこもっていないで、一歩踏み出してほしい ・B君と同じようにいつかはいい日が来ると信じて頑張ってもらいたい ・自分を大切にして、正しいと思うことに立ち向かっていくこと	○手紙に込められたB君の思いをとらえさせる ○B君が小学校の時嫌がらせを受けていたことをおさえ、B君の現状に立ち向かっていく自立の心をとらえさせる ○口頭で答えさせる ○自ら判断し、勇気をもって実行することの大切さを深く考えさせるために、個々に考えさせたあと、少人数のグループで話し合い活動を行い、お互いの考えの違いに気付かせる
	3 自己の立場で考える<自己理解> 私たちの道徳P.22の文章を読み、自立することについて自分自身を振り返る (3)『これまでの生活の中で、自分で考えて、行動した経験はありますか』 ・高原学校で係の仕事に責任を持って取り組んだ ・体育大会の応援合戦で、ダンスを考えたり練習の仕方を考えたりした	☆自分自身を振り返り、今までの生活に照らし合わせて、自分なりの意見をもつことができているか
終末 (5分)	4 本時を振り返って、感想を書く	○本時の授業を通して一人一人が考えたことをまとめられるようにする

